

第4学年道徳学習指導案

日時 平成27年11月6日（金） 3校時

学級 4年1組(男子17名、女子18名 計35名)

授業者 田澤 景子

- 1 主題名 やろうと決めたことは最後まで【1－（2）不とう不屈、努力】
- 2 資料名 「きっとできる」（「わたしたちの道徳 小学校3・4年」 文部科学省）

3 主題設定の理由

（1）価値について

学習指導要領第3章の道徳 第3学年及び第4学年の内容項目1－（2）は、「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」である。これは、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる児童を育てようとする内容項目である。この内容項目は次のように発展していく。

低学年1－（2）
自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。

中学年1－（2）
自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。

高学年1－（2）
より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。

1－（3）
自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。

中学校1－（2）
より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志を持つ。

社会を生きていく中で、私たちは様々な困難に直面する。その時に、難しいからとすぐに諦めるのではなく、困難に負けない強い意志と実行力が必要である。また、夢や目標を持ち、それに向かって粘り強く努力していかなければならない。さらに、初めから苦手意識のあるものや不得意なことにおいては、必要に迫られ、努力をしながら乗り越えていくことが多いが、自分の好きなことや得意なことにおいて、現状よりよくなりたいと願い、努力することは難しく、強い意志が必要である。自分を向上させていくには、やらなければならないことをしっかりとやり抜くだけではなく、今より良くなりたいと願い、努力することが大切である。

この時期の児童は、自分の好きなことには積極的に取り組み、楽しむことができるが、その多くは、他人より優位に立てるからという理由が多い。そこで、自分で目標を定め、諦めずに取り組むことの意義や、向上したいと願い、努力し続ける姿について考えを深めていく必要があるといえる。

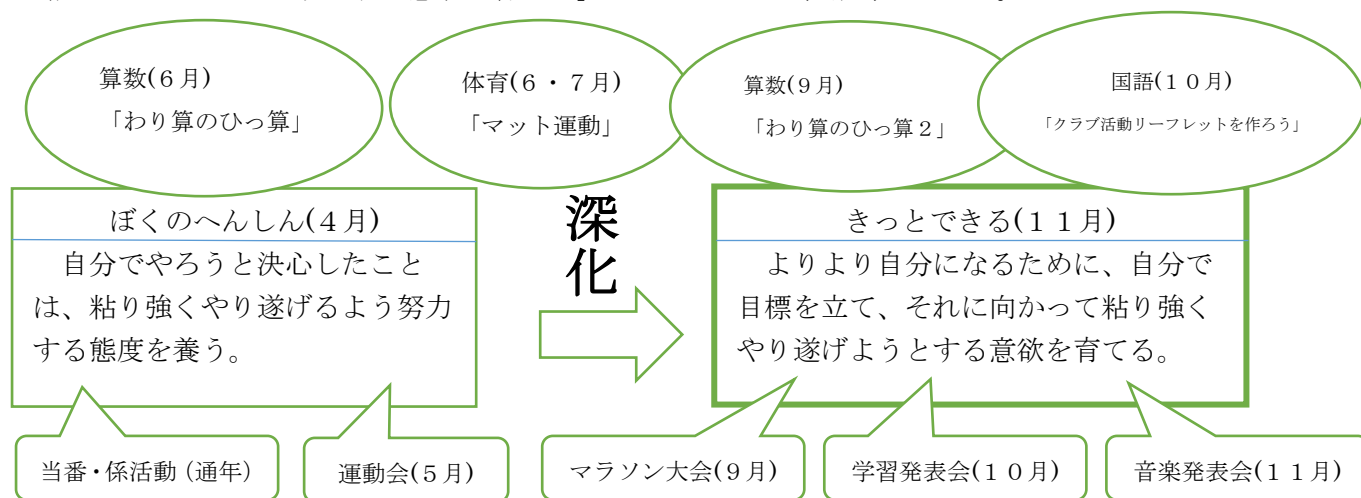
（2）児童について

本学級の児童は、当番活動や係活動など、自分がやらなければならないことはしっかりと理解し、積極的に取り組む姿が多くみられる。また、苦手なことや不得意なことに直面した時も、諦めずに努力することの大切さを感じ取ったり、一生懸命励んだりする児童も見られるようになってきた。しかし、自分の好きなことや得意なことに関しては、言われたことをその通りにこなすだけであったり、現状に満足していたりする児童が多く、勝敗だけにこだわり、より自分を向上させたいという明確な目標を持って取り組んでいる児童は少ない。

そこで、本指導を通して、自分で目標を設定し、諦めずに取り組むことや、今より良くなりたいと願い、そのために努力をし続けることが大切であることを考えさせたい。

4 教科・領域との関連と補充・深化・統合の視点

- ・ 1－(3) 不とう不屈・努力について、児童は、「ぼくのへんしん」「きっとできる」という2つの資料をもとに深めていく。「ぼくのへんしん」では、「自分でやろうと決心したことは、粘り強くやり遂げるよう努力する態度を養う」をねらいとして、苦手なことでも、日々努力していくことの大切さを主人公の気持ちから学んできた。
- ・ 体育「マット運動」では、自分の苦手な技ができるようにするために、自分で目標を立てて練習に取り組み、達成した時の充実感を味わった。
- ・ 学習発表会では、自分たちの目指す合唱や合奏ができるようにと、休み時間や放課後にも自主的に取り組み、練習することの大切さを感じてきた。
- ・ 本資料「きっとできる」では、「より良い自分になるために、自分で目標を立て、それに向かって粘り強くやり遂げようとする意欲を育てる」をねらいとして、指導していく。



5 本時の指導

(1) ねらい

より良い自分になるために、自分で目標を立て、それに向かって粘り強くやり遂げようとする意欲を育てる。

(2) 指導にあたって

- ・ 導入では、事前アンケートを活用し、自分の現状を理解させることで、価値への導入を図る。また、オリンピックや高橋尚子について話し合い、資料への方向付けも図る。
- ・ 展開では、走ることが好きな尚子的心情を中心に話し合わせる。いろいろな大会に出るも、良い成績を残すことができない、しかも自分の目標が分からず悩む気持ちに共感させる。その後、自分の記録と戦うということに気付いた理由や、その目標に向かってどんな思いで努力し続けたのかを考えさせる。好きだからこそ、より高い自分を目指していくこと、そのために、自分で決めた目標に向かって努力し続けることの大切さに気付かせていきたい。その後、今までの自分はどうかだったのかを想起させ、これからの生活について考えさせたい。
- ・ 終末では、よりよくなりたいと自分の目標を決めて、一生懸命取り組んでいる友達を紹介し、自分で目標を立て、粘り強くやり遂げようとする意欲を育てたい。

(3) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 アンケートの結果をもとに、自分たちの現状をとらえる。 2 高橋尚子について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分もつらくてすぐやめてなあ。 努力し続けるのはたいへんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの自分を客観的に振り返ることで、価値への導入を図る。 高橋尚子選手の写真を用意し、興味をもたせる。
展開 37分	3 資料について話し合う。 ○どんな思いで、ため息をつきながら、ごろんと寝ころんだのだろう。 ◎どうして、「人と戦うんじゃない、自分の記録と戦うんだ。」と思ったのだろう。 ○尚子は、どのように頑張りが続けたことができたのだろう。 4 今までの生活を振り返る。 ○これまでの自分はどうか。また、これからどうしていきたいと思えますか。	<ul style="list-style-type: none"> なんでみんな速いのだろう。 なぜ、私は予選落ちしてしまうのだろう。 私はどうすればいいのだろう。 もう嫌だ。 <ul style="list-style-type: none"> 今の自分より、いい記録を出せるようになりたい。 走ることが好きだから。 人と比べてはだめだと思ったから。 <ul style="list-style-type: none"> 小さな目標を立てて行う。 時間ぎりぎりまで練習。 自分への挑戦。 自分を励まし、自分に拍手を送る。 がんばればきっとできる。 自分のペースでこつこつと頑張る 目標を達成するために、時間をたくさん使いたい。 がんばれ、きっとできる やったあ、できた、うれしい <ul style="list-style-type: none"> 今まで、ただ好きだから練習をしていたけれど、自分で目標をしっかりと持って、練習に取り組んでみたい。 自分は今まで、勝てればそれでよかったが、自分自身のための目標をもってがんばっていきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 走ることが好きで、色々な大会に出るものの、良い結果が残せない苦しみ、テレビに映る速い選手と自分との差に落胆し、自分の目標が分からない不安にしっかり共感させる。 人とばかり比べていた尚子が、自分自身を見つめ、走ることが好きだからこそ自分のために記録を伸ばしていこうという思いに気付いたことをとらえさせる。 継続することの辛さ・大変さを考えさせる。 努力を続けられたのは、より良い自分になりたいという強い思いや自分への励まし・称賛があったことを確認することで、自分と戦うことの大切さに気付かせる。 「頑張ればきっとできる」とは、何ができる事なのかを考えさせる。 学習シートに今までの自分はどうかを書き、これからどうしていきたいのか、価値について考えさせる。
終末 3分	4 自分の目標を立て、努力し続けている友達を紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちも努力していること、努力できることに気付かせ、より良い自分になるために、粘り強くやり遂げようとする意欲を育てる。 振り返りをする。(学習シート)

